

西区ボランティア連絡会
ボランティアサロン

西区ボランティア連絡会では、ボランティアに関心のある方、実際にボランティアをされている方の交流の場、身近なテーマで福祉の情報を提供する場として、ボランティアサロンを実施しています。初参加や個人参加も歓迎していますので、お気軽にご参加ください。

開催日時：毎月第3木曜日
午前10時～正午
次回開催日：2月17日



昨年12月のボランティアサロンでは、映画鑑賞を行いました。講演や施設見学などテーマは毎月異なります。

西区ボランティア連絡会とは…

ボランティア活動の活発化のため、各区ごとに設置・運営されています。主に研修会や会員の交流、情報交換などの取り組みを行っており、西区では約400人が登録しています。

地域でボランティアを行っている個人やグループ、またはボランティア活動に関心のある方はどなたでも入会できます。

詳細：西区社会福祉協議会
TEL 641-2400(内線458)

写真右：伊藤さん
左上：青山さん
左上から2人目：高橋さん



子どもと遊ぶ西陵高校の学生ボランティア



山の手高校では

今回ボランティア部から10人の生徒が参加した山の手高校。43人の部員が活動するボランティア部では、年に40回ほどボランティア活動への参加の機会があるそうです。顧問の平澤誠先生は「北海道マラソンのボランティアに参加したときには、最初は生徒たちは何をすればよいのかわからなかったようですが、実際に活動を始めると夢中になって取り組んでいました。ボランティアなので決して強制はしませんが活動を通して思いやりの心を育ててほしい」と話します。

ボランティア部員の声

力士の扮装で子どもたちの遊び相手をしていた1年生の吹矢透君は「将来福祉関係の仕事に就きたくてこの部を選びました。今日は子どもたちに力いっぱい押されて腰が痛くなりました」と笑顔で話してくれました。



1月6日、琴似中学校のグラウンドで、地域の親子のふれあい交流「ウインターカーニバル」が行われました。これは、子育て家庭と地域の方が交流を深めるために毎年夏と冬に行う行事で、たくさんの親子が参加し、雪遊びなどを楽しんでいます。

この日集まったボランティアは、琴似中学校、札幌山の手高校、札幌西陵高校の生徒、地域の民生委員、子育てボランティアなど総勢50人。その中には高校時代から継続して参加している専門学校生2人の顔もありました。

西陵高校出身の学生3人

2人は、青山由美子さんと伊藤実穂さん。2人の友達の高橋恭子さんは、2人に誘われ、今回初めて参加しました。3人は共に西陵高校の卒業生です。青山さん、伊藤さんは「1年生のときに偶然学校で配られたボランティア募集のチラシを見て参加しました。初めて参加したのが夏の行事で、猛暑の中大変だったのを覚えています」と振り返ります。

活動を続ける理由は

「ボランティアが好きで、ほかに西老人福祉センターでもボランティアをしています。いろいろな経験してみたいんです」と語る伊藤さん。そして青山さんは「看護学校に通っているの、このような活動することは自分の勉強にもなります」と将来をしっかりと見据えて考えているようです。初めて参加した高橋さんも「子どもは目や肌がきれい。子どもっていいなあと思いました」と感想を語ります。

西陵高校では、今回のために事前におもちゃを手作りして用意していたほか、当日も生徒11人がボランティアとして参加しました。青山さん、伊藤さんの活動は、今も後輩たちにしっかりと引き継がれています。

ウインターカーニバル・子育てボランティアの問い合わせ先
西区保健福祉サービス課 子育て支援担当(西保健センター1階)
TEL 641-2400(内線484)

奮闘！学生ボランティア
ウインターカーニバル

子どもをそりに乗せて走る
山の手高校の生徒